

診療科(講座)紹介

ようこそ、家庭医療へ！ 平成18年に新設された地域・家庭医療部の「家庭医療学専門医コース」には次のような特長があります。

1. 日本家庭医療学会認定 後期研修プログラム
2. 広範な健康問題に対応できる知識・技術の習得
3. 救急、整形外科、小児・女性のケアの高レベルの指導体制
4. 地域・家庭医療に関する臨床研究で学位を取得
5. 女性医師のライフステージを尊重したキャリア形成を支援
6. 福島県内全域に広がる後期研修サイトのネットワーク
7. 地域・家庭医療部教官が各研修先で直接外来指導、「評価とフィードバック」を実施
8. 「レジデント・フォーラム」(公開)を毎月開催
9. 「家庭医療サマー・フォーラム in 福島」(公開)を毎年開催
10. 世界の家庭医との日本最大のネットワークで学ぶ研修
11. 海外の家庭医療先進地域を視察
12. テレビ会議システムによる「TVカンファレンス」の実施

指導医(スタッフ)紹介



部長(教授)  
葛西 龍樹

昭和51年 神奈川県立横浜翠嵐高校卒業  
昭和59年 北海道大学医学部卒業  
平成4年 カナダ家庭医学会 認定  
家庭医療学専門医課程修了  
(MCFPC)  
平成17年 英国家庭医学会名誉正会員・  
専門医(MRCGP)

臨床専門分野

- 1) 家庭医療

研究分野

- 1) 家庭医療学
- 2) 地域医療学
- 3) 臨床教育学
- 4) EBM
- 5) NBM

学会活動

- 1) 特定非営利活動法人 日本家庭医療学会 副代表理事
- 2) 日本クリニカル・エビデンス 編集委員長
- 3) 財団法人 日本医療機能評価機構 医療情報サービス事業 運営委員
- 4) 英国医学雑誌 British Medical Journal 誌 編集委員
- 5) 英国医師会出版部BMJ Knowledgeプロジェクトアドバイザー
- 6) 世界家庭医機構(WONCA) Asia Pacific Family Medicine 誌 編集委員



助教 田中 啓広

平成14年 日本医科大学医学部卒業

臨床専門分野

- 1) 家庭医療

研究分野

- 1) 予防医学
- 2) EBM
- 3) 臨床教育学



助教 石井 敦

平成3年 福島県立磐城高等学校卒業

平成10年 聖マリアンナ医科大学卒業

臨床専門分野

- 1) 家庭医療

研究分野

- 1) 地域医療
- 2) 全人的医療の実践

後期研修(専門医養成コース)プログラム

	修得すべき手技や経験目標など
1年次 (卒後3年)	<p>&lt;病院研修をしつつ家庭医療を学ぶ&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床各分野にわたる広範な健康問題に地域で対応できる知識と技術(家庭医が持つ医学的な知識と技術)を主として地域センター病院と診療所のローテーションで習得します。</li> <li>2. 家庭医の基礎能力(すべての医師が備えるべき能力)について理解し実践します。</li> <li>3. 家庭医の専門能力(「家庭医」を特徴づける能力)について理解し実践します。</li> </ol> <p>●学術・研究では</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部内での症例・テーマ発表を行います。</li> <li>2. 臨床研究のテーマを設定します。</li> <li>3. 1年目～3年目の間に1度、WONCA(世界家庭医機構)の学術総会に見学参加します。</li> </ol>
2年次	<p>&lt;地域ローテーションで家庭医能力を磨く&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床各分野にわたる広範な健康問題に地域で対応できる知識・技術を主として複数の地域の診療所と病院のローテーションで習得します。救急、整形、小児・女性のケアのレベルアップを図ります。</li> <li>2. 家庭医の基礎能力について理解を深め、地域で実践します。</li> <li>3. 家庭医の専門能力について理解を深め、地域で実践します。</li> </ol> <p>●学術・研究では</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方会レベルのフォーラムで症例・テーマ発表を行います。</li> <li>2. 設定したテーマで臨床研究を実施します。</li> </ol>
3年次	<p>&lt;地域に根付いて家庭医療学専門医となる&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床各分野にわたる広範な健康問題に地域で対応できる知識・技術を主として1箇所の診療所に定着して習得します。小児・女性のケアは専門医のパートナーができるレベルを目指します。</li> <li>2. 家庭医の基礎能力についてさらに理解と地域での実践を深めます。</li> <li>3. 家庭医の専門能力についてさらに理解と地域での実践を深めます。</li> </ol> <p>●学術・研究では</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全国学会レベルのフォーラムで研究発表を行います。</li> <li>2. 研究の成果を論文(和文)として執筆・出版します。</li> <li>3. さらに臨床研究を進めます。</li> </ol>
4年次	<p>&lt;教育・研究に関わり学位も取得する&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床各分野にわたる広範な健康問題に地域で対応できる知識・技術を効果的に学生・研修医に教育するための知識を学び、学生・研修医を対象とした教育を実践します。</li> <li>2. 家庭医の基礎能力について効果的に学生・研修医に教育するための知識を学び、学生・研修医を対象とした教育を実践します。</li> <li>3. 家庭医の専門能力について効果的に学生・研修医に教育するための知識を学び、学生・研修医を対象とした教育を実践します。</li> </ol> <p>●学術・研究では</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. WONCA(世界家庭医機構)の学術総会で研究発表を行います。</li> <li>2. 研究成果を論文(英文)として執筆・出版します。</li> <li>3. 学位論文を執筆・出版します。</li> </ol>

## 大学院・留学について

後期研修医は大学院生を兼ねることができます。研修をしながら学位取得を目指す研究を進めることができます。地域・家庭医療部では、平成20年5月に*British Medical Journal* 編集部と共催でプライマリ・ケア領域の研究を振興するカンファレンスを開催して好評でした。さらに、国際的なレベルの高い家庭医療学若手研究者養成を目指すプロジェクトBrisbane Initiativeに参画します。

福島県立医科大学の地域・家庭医療部は、世界の家庭医との日本最大のネットワークを持っています。このネットワークを活用して、海外先進地視察、海外での研究発表、ワークショップ参加、フェローシップ留学なども含めて家庭医療をグローバルに学べるチャンスがたくさんあります。

## 専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標

以下の項目について詳細なカリキュラムが用意されています。

1. 「家庭医」を特徴づける能力
  - 患者中心の医療の方法
  - 家族志向のケア
  - 包括的・継続的かつ効率的な医療
  - 地域包括ケア
2. すべての医師が備えるべき能力
  - 診療に関する一般的な能力
  - コミュニケーション
  - プロフェッショナリズム
  - 組織・制度・運営に関する能力
3. 家庭医が持つ医学的な知識と技術
  - 健康増進と疾病予防
  - 幼小児・思春期のケア
  - 高齢者のケア
  - 終末期のケア
  - 女性の健康問題
  - 男性の健康問題
  - リハビリテーション
  - メンタルヘルス
  - 救急医療
  - 臓器別問題



## 後期研修協力病院

(五十音順)

関連病院名	所在地	指導医名・職名
1 会津中央病院	会津若松市	各科 指導医
2 猪苗代町立猪苗代病院	猪苗代町	
3 いわき市立常磐病院	いわき市	
4 いわき市立総合磐城共立病院	いわき市	
5 太田西ノ内病院	郡山市	
6 かしま病院	いわき市	
7 公立岩瀬病院	須賀川市	
8 公立相馬総合病院	相馬市	
9 公立藤田総合病院	国見町	
10 社会保険二本松病院	二本松市	
11 須賀川病院	須賀川市	
12 竹田総合病院	会津若松市	
13 塙厚生病院	塙町	
14 福島県立会津総合病院	会津若松市	
15 福島県立南会津病院	南会津町	
16 福島県立宮下病院	三島町	

関連病院名	所在地	指導医名・職名
17 福島赤十字病院	福島市	各科 指導医
18 福島総合病院	福島市	
19 保原中央クリニック	伊達市	
20 星総合病院	郡山市	
21 南相馬市立総合病院	南相馬市	
22 三春町立三春病院	三春町	
23 わたり病院	福島市	

※平成20年4月現在

## 指導医からのメッセージ

地域・家庭医療部では、日本で世界標準の家庭医療学専門医になることを目指す後期研修プログラムを提供しています。日本家庭医療学会が平成18年から制定した「家庭医療後期研修プログラム」の認定を取得しました。

研修カリキュラムは、コミュニケーション、プロフェッショナリズム、マネジメント能力を土台にして、広範な健康問題に対応できる知識・技術を身につけ、家庭医を特徴づける能力（患者中心の医療と家族志向ケアを提供する能力、包括的・継続的かつ効率的な医療を提供する能力、地域を包括してケアする能力）を態度・価値観・信念も含めて習得・発展できるようにデザインされています。後期研修医は、指導医の指導のもとに、学生や初期研修医の教育にも関わり、家庭医療の現場から発するリサーチ・クエスチョンに答えを出すための臨床研究にも取り組みます。

福島県立医科大学の地域・家庭医療部は、世界の家庭医との日本最大のネットワークを持っており、研修医およびスタッフには、海外先進地視察、海外での研究発表、ワークショップ参加、フェローシップ留学なども含めて、ローカルにもナショナルにもグローバルにも活躍できる場が待っています。

日本中から集まる仲間とともに、ぜひ福島で家庭医療を研修して下さい。

